

海津市地区（海津市）

【地域の概要】

- 岐阜県の最南端に位置し、西部と南部は三重県に、東部は木曾川・長良川を境に愛知県に隣接しています。西部の養老山地のすそ野には扇状地が広がり、揖斐川が縦断する中央部から東部は「輪中」と呼ばれる、河川によってもたらされた肥沃な土壤に培われた豊かな田園地帯が広がっています。
- 昭和55年～平成12年にかけて国営・県営事業による再圃場整備が行われ、土地利用型作物の導入条件が整ったことから、戦略作物の小麦・大豆の生産を拡大、農業法人等による集団的栽培が行われています。また、トマト・キュウリなどの地域振興作物を主とした施設園芸、中山間地のみかん・柿を主とした果樹、酪農を主とした畜産など、地域ごとの土地条件に応じた営農が行われています。
- 各分野とも農業従事者の高齢化や後継者不足が共通した課題となっています。

取組開始前の状況や課題

- 担い手への農地の集積については、平成26年度71.6%、平成27年度71.9%、平成28年度70.9%とほぼ横ばいとなっている。
- 遊休農地面積については、平成26年度0.43%、平成27年度0.42%、平成28年度0.69%と上昇している。

取組内容

- 地域の営農集団の協議の場に参加し、担い手への農地の集積・集約化に関する意見交換を行った。
- 農業委員による毎月1回から2回程度の農地パトロールを実施し、遊休農地の早期発見、解消に努めた。

今後の展開と方向性

- 地域の農業集団の協議の場に積極的に参加し、農地の利用集積・集約化が図られるよう活動を行う。
- 現在行っている農地パトロールを継続して行い、遊休農地の発生防止を図る。また、遊休農地の多く存在する地域については、重点的に農地パトロールを行い、土地所有者に遊休化している原因の確認を行う等、解消に向けての協議を行う。